



平成29年度 徳間小グランドデザイン

「しなのきプラン29」 ～長野市の子どものための「知・徳・体」をバランスよく伸ばしていくために～
目指す人間像 グローバルな視野を持ちながら、ローカルにたくましく生きる自立した18歳

学校教育目標 **ともに 輝き 明日を拓く 徳間の子**
～日本一 なかよしになろう～

目指していききたい子どもの姿

- 元気で明るく、素直な子ども。
- 主体的に学習に取り組む子ども。
- 自分の考えが持て、発表できる子ども。
- 他学年・他学級とのつながりを大切にしている子ども。
- 与えられた仕事や自分たちで決めたことをやりぬこうとする子ども。
- 正しい集団行動の取り方を理解し、学校のルールが守れる子ども。

学校長の願い

- 子どもも教師も毎日楽しみに登校できる学校
- 子どもたちが将来に夢をもてる学校
- 子どもたちの生きる力を考え、育てていく学校
- 子ども一人ひとりが生き生きと活躍する場がある学校

地域との関わり

- 学校支援ボランティアの方々と共に、学校が地域のコミュニティの一角を担う。
- 積極的に地域に発信したり、地域に学んだりしながら、地域と共に歩む。

今年度の重点

思いやりの心を育てよう
「にこにこプラン」

わかるまで学習しよう
「学力向上プラン」

心と体を鍛えよう
「すこやかプラン」

徳間小スタンダードの実践（ユニバーサルデザイン化）

基礎・基本の定着

- ・ホワイトボード、タイムタイマーの活用
- ・マグネットシートを活用した、学習問題、めあて、まとめの明示
- ・情報機器を活用した視覚化の工夫
- ・主体的・対話的な学びにつながる学習形態の工夫（ペア、小グループ）
- ・授業改善に向けた教師の自己課題の設定と、一人一公開の実施

- ・「ボラの時間」「学びの時間」の充実
- ・「定着テスト」による学習内容の理解の把握
- ・「家庭学習の手引き」から、家庭との連携

評価の工夫・活用

- ・単元テスト、NRT、全国学力テストを分析する習慣化
- ・分析結果を活かした授業改善
- ・「子どもを見る確かな目」を養う省察の積み重ねと校内研修の充実

徳間小学校応援団の具現化

- ・学習サポーターの活用
学習の支援 校外活動の支援 読み聞かせ etc

交流の場を大切に

- ・あいさつを進んでするようにする。（本会・代表委員会の活動からも広げていく）
- ・教師も子どもも「さん」「君」を付けて呼び合うようにする。
- ・姉妹学級、特別支援学校、ルーマニア明日の家、地域の方々との交流を進める。
- ・なかよし旬間を通して人権教育の充実を図り、豊かな人権感覚と差別を許さない正しい知識と実践力を身につけるようにする。
- ・遊びの中から友達とふれあう楽しさを感じながらも、ルールを守る大切さも知る。

望ましい生活習慣の育成と

健康教育の促進を

- ・心で「聴く」姿勢をつくる。
- ・「命の学習」を系統的に全学年で学ぶ。
- ・一校一運動の推進（なわとび運動）
全校共通のカードを使用していく。
- ・体力テストの分析から、体力向上につながる授業改善を進める。

教育相談の充実と日常化＝窓口の周知

信頼される学校・教職員に（スクールコンプライアンスの保持）

目指す学校：誰もが明日また来たくなる学校
大好きな子どもたち・自慢の子どもたち

- 評価アンケートの実施（保護者・子ども・教師）
- 検討委員会の設立と検討、職員会議での検討
- 次年度の課題の決め出し

学校教育目標

こんな徳間小学校に

具体的な取り組み

支援する教師の姿勢

評価